

令和5年度 茨城県林業技術センター試験研究の概要

研究体系	担当部	番号	研究課題・事業名	期間	研究等の概要
1. 持続可能な農林水産業及び気候変動に対応した新品種・新技術の開発  優良な種子の供給と苗木生産技術の向上	育林部	1	低コスト再造林に資するコンテナ苗の活用と生産技術に関する調査と普及	R4~R8	一貫作業システムなどの低コスト再造林に資するコンテナ苗の現地植栽後の活着率や成長量等に関する調査を行い、コンテナ苗の普及促進を図る。
		2	花粉症対策品種の円滑な生産支援	R4~R6	ヒノキに適したミニチュア採種圃管理技術を開発するための調査・研究を進め、その管理技術をマニュアルとしてまとめる。 【中核機関：林木育種センター】
		3	優良種苗確保事業	S38~	花粉の少ないスギ・ヒノキ及びマツ材線虫病に抵抗性のあるマツの優良種子を安定的に供給するため、優良系統の選抜や病害虫防除等により採種圃の適切な運用を図る。
		4	コンテナ苗の生産に係る技術改良試験（種苗生産体制整備事業の一部）	R4~R7	コンテナ苗生産者が生産現場で抱えている技術的課題を解決し、苗木生産の安定化と得苗率の向上を図るため、生産者と共同で技術の改良に取り組む。
		5	スギ特定母樹採種圃産種子による苗木の成長試験	H26~R5	特定母樹に指定されたスギ12系統の採種圃産の自然交配種子から苗木を育成し、成長特性を調査するとともに、従来の採種圃産の苗木との比較検証を行う。
2. 省力化・低コスト化のための技術の開発  造林・育林の低コスト化に向けた技術の開発  森林病虫害防除技術の開発	森林環境部	6	スギ特定母樹の自然交配種子から生産された苗木の植栽密度に関する試験研究事業	R2~6	育林経費の大半を占める植栽・下刈の労力と経費を削減するため、成長に優れる可能性がある、スギ特定母樹の自然交配種子により生産された苗木を異なる密度で植栽し、その生育特性と、最適な植栽密度を明らかにする。
		7	管理優先度の高い森林の抽出と管理技術の開発	R3~7	森林経営管理制度の中心的役割を果たす市町村が、災害のリスクが高く管理を行う必要がある森林を抽出し、必要な施業を効率的かつ効果的に実施していくための技術を開発する。
		8	ナラ枯れ被害の拡大防止に関する調査と普及	R3~6	令和2年度から県内で被害が確認されているナラ枯れについて、原因であるカシノナガキクイムシ（カシナガ）発生の経緯や移動範囲等が不明であるため、被害地におけるカシナガの生息状況等を調査し、被害の拡大防止を図る。
		9	市民活動を主体とした都市域のナラ枯れ防除体制の確立	R4~6	研究機関が持つ知見をもとにボランティア等の市民活動と自治体が行う防除作業を見直し、必要な防除作業を実施することにより都市域のナラ枯れ防除体制を確立する。
		10	マツノマダラカミキリ発生予察調査	S49~	マツ材線虫病によって枯れたマツ材内のマツノマダラカミキリの虫態別の虫数を調査し、幼虫の発育状況及び気象条件との相互関係から、成虫の発生期を予測する。
3. 付加価値向上に資する新品種・新技術開発  特用林産物の栽培技術の開発	きのこ特産部	11	菌根性きのこの感染・育成技術の開発	R1~5	大型で商品価値のある子実体が発生するような菌根性きのこの感染・育成技術を開発する。
		12	エノキタケ等露地栽培きのこ類の複合的周年栽培に関する研究	R1~5	エノキタケをはじめとするきのこ発生時期の異なる露地栽培きのこ類を組み合わせた周年栽培技術を開発するとともに、発生したきのこへの放射性セシウム移行状況を明らかにする。
		13	ホンセイヨウショウロ人工栽培を目指した安定的な菌根苗作出技術の開発	R5~7	付加価値の高いホンセイヨウショウロの人工栽培をめざし、菌根苗作出技術を開発する。
		14	ウルシ苗の安定生産技術及び植栽技術に関する研究	R2~6	ウルシ苗の安定生産や優良系統の保存に資するため、ウルシ種子の発芽促進技術を開発するとともに、優良系統の成長量を調査する。また、山林等へウルシ苗を植栽し、畑地への植栽と比較検討し、ウルシ林植栽のための管理方法を明らかにする。
		15	安全なきのこ類露地栽培のための技術改良と普及	R3~R5	①再分離株における春マイタケの優良系統の調査。②高品質のニオウシメジを収穫できるような、伏せ込み技術の改良。③非破壊で原木やほだ木の放射性セシウム濃度が測定できる可搬型検査装置による汚染原木、ホダ木判定方法の現地実証。
(2,3共通) 放射性物質対策	森林・きのこ	16	農林水産物モニタリング強化事業	H23~	特用林産物等の検体調製及び放射性物質検査を行い、蓄積したデータをもとに放射性物質の影響を把握し、安全な特用林産物を作るための基礎データとするとともに、データを整理・分析し関係機関へ情報提供する。